

【出題意図】

本学部では、社会に広く関心を持ち、それらの理解に必要な情報を収集でき、かつ収集した情報を適切に関連付けながら問題を発見・論理的に解決できる学生を求めている。

本出題では、社会的に関心の高い事柄である保険や社会保障のしくみのありようについて問うこととした。保険や社会保障については、個人のリスクを軽減する役割が強調されがちである。しかし、保険や社会保障の存在が社会全体に対する影響につながることに关しては、個人のリスク軽減に対する関心と比較すると人々の間でそれほど重要視されていない。そこで本出題では、保険もしくは社会保障の存在意義についての複数の文献・資料を適切に関連付けることによって、それらの大事な役割である「社会全体のリスクを軽減する」ということを受験生に意識してもらい、そのうえで保険料を支払いたくないと考えている人に対してどのように論理的に説得すべきかについて資料に基づいて受験生に考察してもらったこととした。

以下では各問いと本学部のアドミッションポリシー(以下 AP)との対応関係を示す。問1と問4では AP1 の「文章作成能力」の基本となる漢字の語彙力および諺の内容を試す出題とした。問2および問3では AP1 の「読解力」を試している。問5では AP2 の「論理的思考能力」を試し、問6では AP1 にある「基礎的な数学的思考能力」を試している。そして問7は AP1 の「文章作成能力」および AP2 の「論理的思考能力」に加え、AP3 の「自分の考えを適切に表現し、積極的に他者の考えを理解しようとする」能力を総合的に試す出題としている。

【解答例】

問1 (c)抛出 (g)窒息 (h)盗難 (j)確率 (k)増殖

問2 救済対象は地縁が弱く家族もない貧窮者に限られ、救済は天皇の恵みによってなされるという考え方。

問3 みんなでお金を出し合ってそれを共同でプールしておき、自分を含め困った状況になった人には必要なお金を払い助けるということ。

問4 他人に対して情けをかけておけば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味。

問5 資料(D)によると、健康リスクの高い人は比較的健康リスクの低い人に比べて、病気に伴い業務遂行能力が低下する、欠勤が増えるということから労働生産性が低下することが考えられる。また資料(E)によれば、日本全体の労働生産性と賃金水準には関連があり、日本全体の労働生産性が上がれば賃金水準が上昇することが読み取れる。よって、健康リスクが比較的低い人も医療保険に加入し、日本の医療サービスを充実させることは、健康リスクの高い人の労働生産性をはじめとした改善のみならず、比較的健康リスクが低い人自身の賃金水準も上昇させることにつながる。ゆえに医療保険が整備され、患者に対する医療サービスがいきわたると、資料(C)で指摘されているように負担をするだけの人々、すなわち病気をしない人々も含めた国民全体の利益につながると考えられる。

問6

(解答例その1)

- 各人が負担すべき保険料を x (円)とする。保険に加入する人は1万人なので、この保険会社が徴収する保険料の総額は $10000x$ (円)。
- 保険金が100万円で罹患する人が4人ということなので、この保険会社が支払う保険金の総額は400万円。
- 「保険会社が得た保険料収入は全て保険金支払いのために使われる」ので

$$\frac{10000x}{\text{保険料総額}} = \frac{4000000}{\text{保険金総額}}$$

よって、 $x = 400$ (円)

(解答例その2)

- 各人が負担すべき保険料を x (円)とする。
- 保険料は罹患した時にもらえる保険金の額に罹患する確率を掛けた値に等しくなると考えることも可能なので、次の式を提示し計算してもよい。

$$x = \frac{1000000}{\text{罹患した時にもらえる保険金の額}} \times \frac{4}{\frac{10000}{\text{この病気に罹患する確率}}}$$

よって、 $x = 400$ (円)

問7 個人が受けたリスクは、社会全体に対して悪い影響を及ぼすことがある。例えば個々人が罹った病気によって社会全体の生産性の低下と賃金水準に悪い影響が生じる可能性が指摘されている。こういった病気の危険性から個々人を守り、かつ、病気が社会全体に及ぼす悪影響を回避するには保険の仕組みを整備することが望ましい。保険が整備されると、一人一人の少ない負担によって、病気になった人に対する救

済が可能になり、その病気による社会全体への悪影響を食い止めることができる。また、自分自身が病気に罹った場合でも救済を受けることができるようになる。医療保険に加入し保険料を支払うということは、個人のためということはもちろんであるが、同時に社会全体が被るかもしれない不利益を小さくすることにつながる。ゆえにどのような立場の人であれ、医療保険の保険料は支払うべきだと考える。